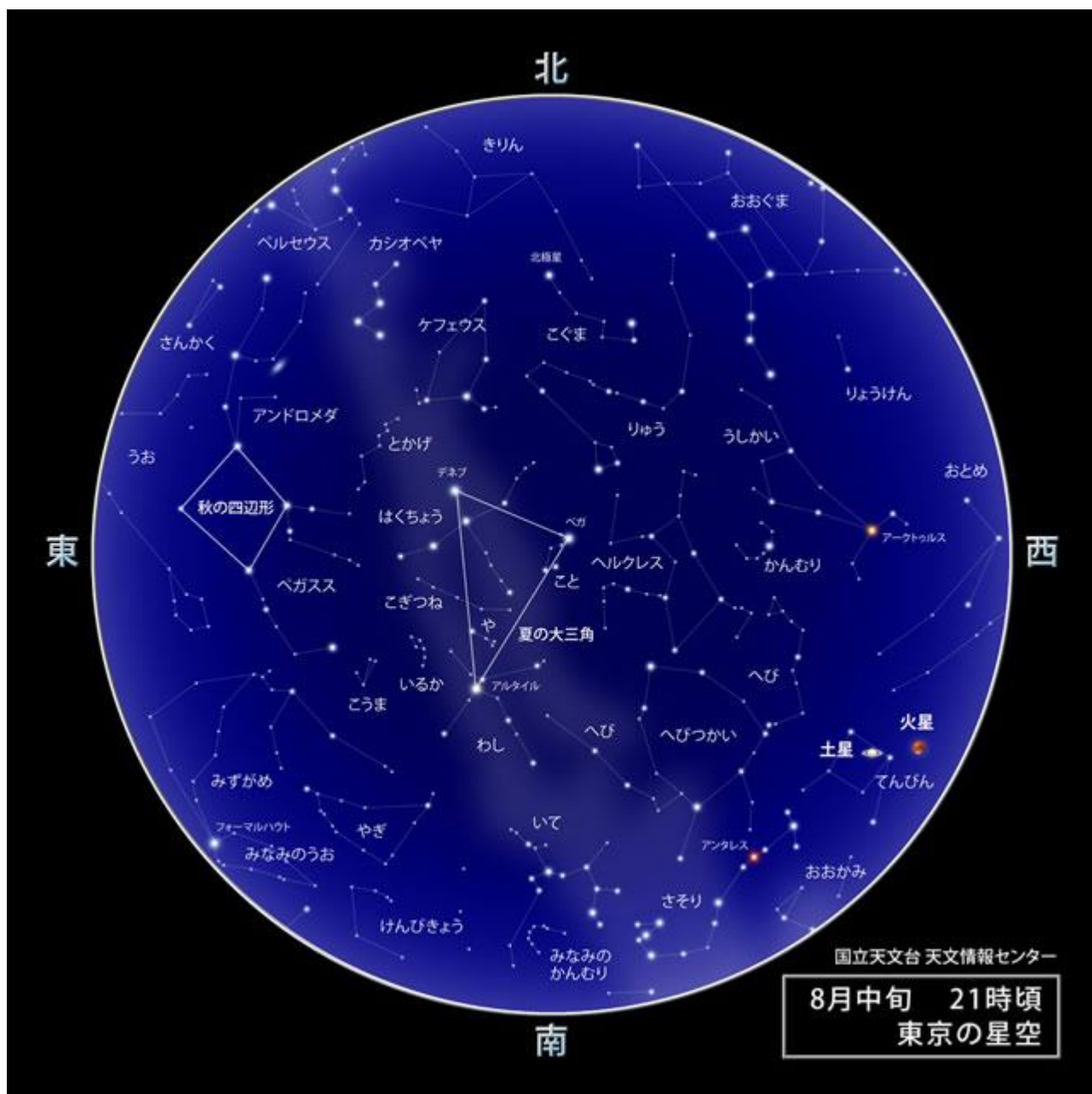
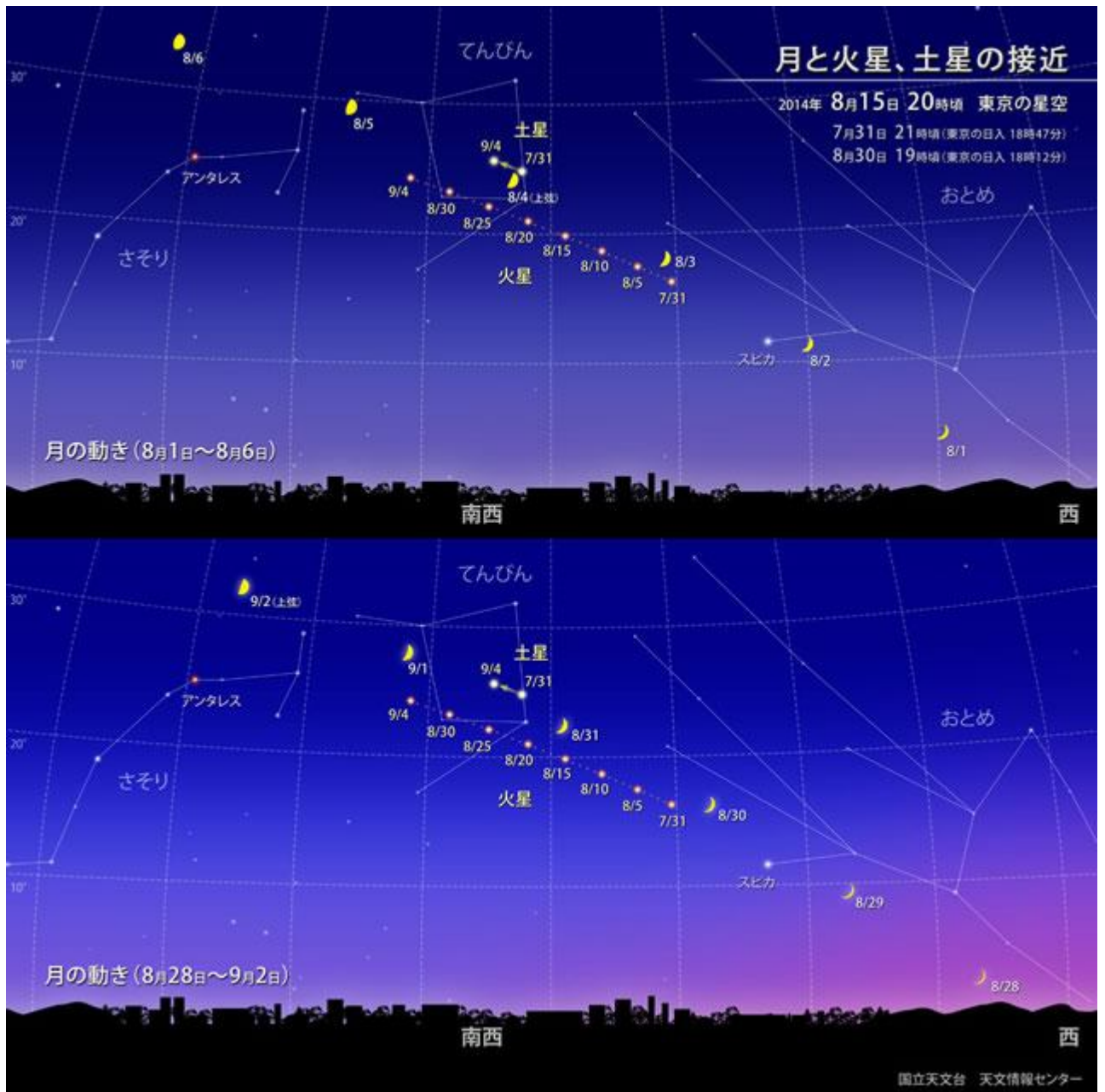


一年の中で一番暑さが体に堪える時期に入っていますが、逆を言えば夜は天体観望の好機でもあります。(休みが多く夜更かし出来るので)



夕涼みがてらに夏の天体を楽しんでみてください。

8月上旬の夜空には火星・土星が寄り添って見えています、上旬と下旬には月も近づき地上のシルエットと共に目を楽しませてもらえる事でしょう。



又、8月11日の満月は、今年一番大きく見えるスーパームーンになります。地球からの距離も35万7千キロと近づき1月の最小の月と比べると10%以上大きく見えることとなります、10%と言うとあまり大きな数字では無い様に思えますが実際に並べて見ると違いが判ります、ぜひ月が出てきたばかりの時に地上の風景と比較して見て下さい思った以上の月の大きさに驚くことでしょう。



そして、目が離せないのが 12 日から 13 日にかけて現れるペルセウス座流星群。
 毎年この日に出現する流星群です、暗い場所で見ると一時間当たり数十個の流れ星が見られるそうですが今年は月が明るいのでかなり見える数は減ると思います。
 逆に星も月も流星も見えるので全てを楽しんでみてください。

(因みに流星群の中心点は夜遅くに北東の方角から上がって来るので寝不足には注意の事)



地元の教育科学館や星好きのボランティア等がこの時期に星空観望会を開催してくれている事が有るので積極的に参加してみてください。

因みに個人的に首都圏で利用してみたい所としては三鷹の国立天文台です、毎月テーマを決めての観望会や施設内の無料公開等を開催しています。

また六本木ヒルズの森タワー上階では六本木天文クラブと言う名称でこれまた毎月観望会や天文セミナー或いは天文に関してのイベントをおこなっているのです是非お近くの方はどうでしょうか。

(国立天文台または六本木天文クラブで検索してみてください。)